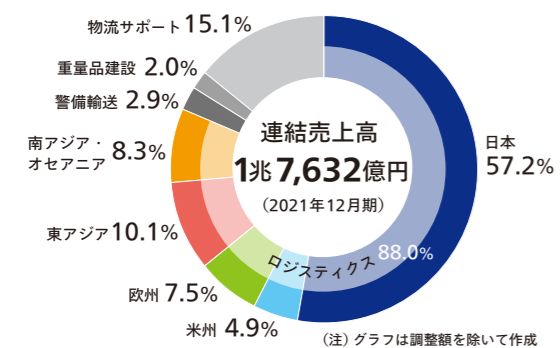


At a Glance

NXグループは、サプライチェーンを効率化・高度化し、モノの経済的価値を高めるため、日本・世界各地において、多様な輸送モードを駆使したさまざまなサービスを提供しています。

セグメント別売上高構成比



※当社は、2021年度より決算期を3月31日から12月31日に変更しております。従いまして、経過期間となる2021年12月期の連結売上高は、2021年4月1日から2021年12月31日の9か月間の数値を記載しています。

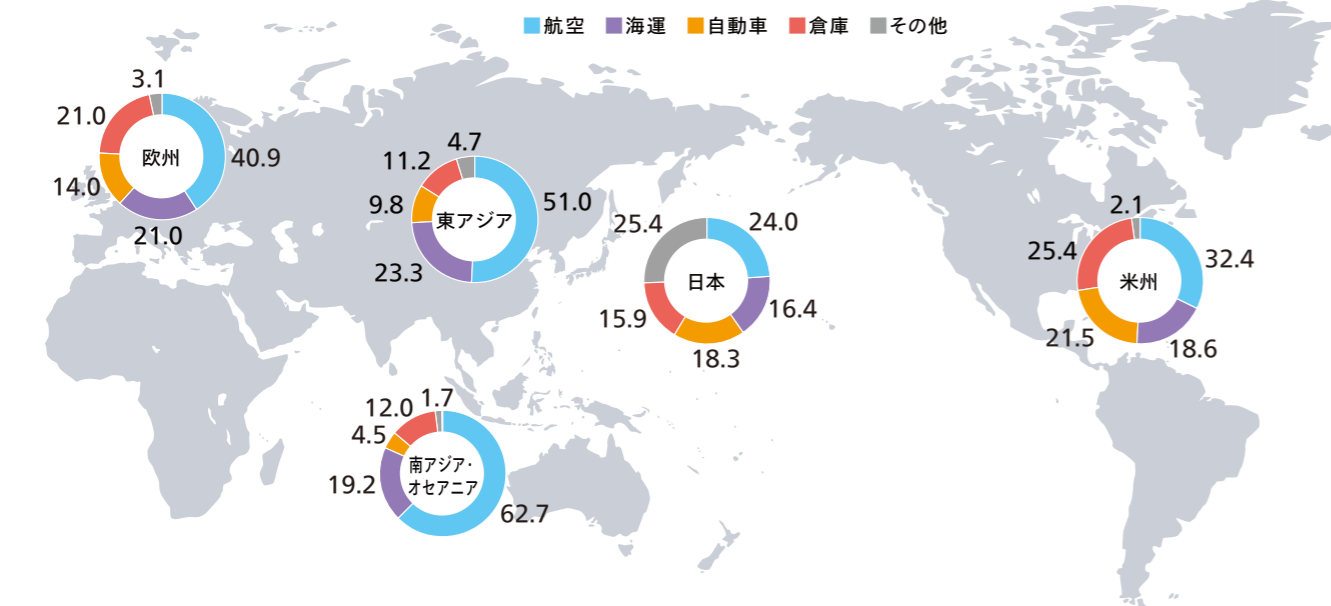
セグメント別売上高/セグメント利益 (単位:億円)

セグメント	売上高	セグメント利益 (営業利益)
ロジスティクス	10,082	379
日本	866	52
米州	1,328	64
欧州	1,780	50
東アジア	1,468	130
南アジア・オセアニア	513	1
警備輸送	358	49
重量品建設	2,671	77
物流サポート		

主要事業・製品およびサービス

セグメント	主要事業										主要製品およびサービス
	鉄道利用運送業	貨物自動車運送業	利用航空運送業	海上運送業	港湾運送業	倉庫業	工場内運搬作業	情報資産管理業	不動産業	重量物運搬架設設置業	
ロジスティクス											鉄道取扱、自動車運送、積合せ貨物、航空運送、海運、引越・移転、倉庫・流通加工、工場内作業、情報資産管理、不動産賃貸、美術品、警備輸送、重量品建設
日本	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	航空運送、海運、倉庫・流通加工、引越・移転、自動車運送
米州		●	●		●	●					鉄道取扱、航空運送、海運、倉庫・流通加工、引越・移転、自動車運送
欧州	●	●	●		●	●					鉄道取扱、航空運送、海運、倉庫・流通加工、引越・移転、自動車運送
東アジア	●	●	●		●	●					鉄道取扱、航空運送、海運、倉庫・流通加工、引越・移転、自動車運送
南アジア・オセアニア	●	●	●		●	●				●	鉄道取扱、航空運送、海運、倉庫・流通加工、引越・移転、自動車運送、重量品建設
警備輸送	警備業、貨物自動車運送業										警備輸送
重量品建設	重量物運搬架設設置業										重量品建設
物流サポート	物流機器・包装資材・梱包資材・車両・石油・LPガス等の販売業、車両整備、保険代理店業、不動産の仲介・設計・監理・管理業、調査・研究業、ロジスティクスファイナンス事業、労働者派遣業										石油等販売、その他販売、不動産、ファイナンス、その他

事業別売上高構成比 (単位:%)



セグメント情報



日本

事業概要

鉄道、自動車、海運や航空などのさまざまな輸送モード、全国に広がるネットワークを駆使し、安全・品質・コンプライアンスへの高い意識とお客様第一の姿勢を持った社員がお客様に最適な物流サービスを提供しています。さらに、国内トップの倉庫面積を誇る物流センターや実績とノウハウを結集した物流情報システムを駆使し、企業間の物流から引越・移転、美術品や医薬品といった特殊な物品の輸送まで、多様なニーズに最適なソリューションを提供しています。

2021年度の主な取り組み

日本通運株式会社、第22回物流環境大賞で特別賞を受賞

一般社団法人日本物流団体連合会主催の第22回物流環境大賞表彰で、同社の4つの取り組みが「特別賞」を受賞しました。

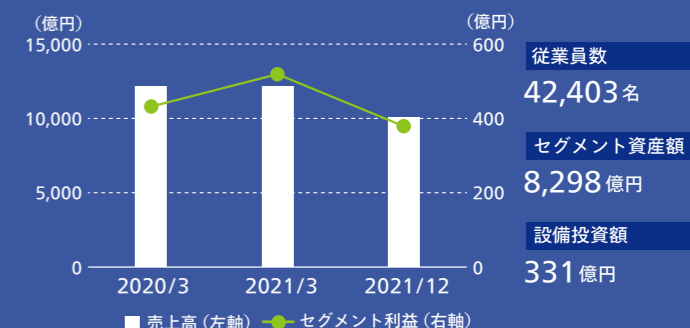
- オリジナル器材「プロテクトBOX」の開発とマルチモードユニットサービスの推進
- 広島県～千葉県への鋼材輸送のモーダルシフト(JFEスチール株式会社と共同受賞)
- 関東～九州間における共同輸送(アサヒ飲料株式会社、日清食品株式会社の2社と共同受賞)
- 福山港を利用した海上輸送(株式会社クラベと共同受賞)

同社では、今後も物流において環境負荷の軽減を進めるとともに、省資源・循環型社会を構築することで、持続可能な社会の実現に積極的に取り組んでいきます。

日本通運株式会社、国内のCO2排出量を可視化する「エコトランス・ナビ」のサービスを開始

国内の輸送に伴うCO2排出量を可視化し、お客様のESG経営をサポートするサービス「エコトランス・ナビ」を11月30日から開始しました。「エコトランス・ナビ」は、トラック輸送が物流の主体となっているお客様へ、過去の輸送データを基に現行輸送モードを環境に優しい鉄道・海上輸送にモーダルシフトした場合のCO2排出量削減効果をレポート化するサービスです。

売上高/セグメント利益の推移



戦略と施策

重点産業(電機・電子、自動車、アパレル、医薬品、半導体)への営業拡大と同時に、業務の効率化により生産性向上を図るなど、持続的な成長を目指し取り組んでいます。顧客起点のアプローチを強化し、アカウントマネジメントによる顧客貢献領域拡大や、顧客サプライチェーンの変化を機会とした新規業務の獲得に取り組んでいます。また、ニーズが集中する東名大大都市圏へ経営資源を集中して営業を拡大するとともに、地域の主要顧客のニーズに応じたサービス提供にも注力しています。

2021年12月期業績概況

航空貨物、海運貨物の取り扱いが増加したこと等により、売上高は1兆82億円となりました。一方、航空・船舶利用費や燃油単価の上昇等により、営業利益は379億円となりました。



米州

事業概要

米国、カナダ、メキシコ、ブラジル、コロンビアに拠点を設置し、米州をつなぐネットワークサービスを展開しています。また、NXグループが現地法人を置かない国での輸送も代理店を通じてのサービスの提供が可能です。USMCA 締結国(米国、カナダ、メキシコ)を縦断するクロスボーダー輸送体制と倉庫機能を構築し、お客様のサプライチェーンを強力にサポートするロジスティクスソリューションを提供します。

2021年度の主な取り組み

日系自動車メーカー合併会社の操業をサポート NXアメリカ株式会社ハンツビル支店

北米の自動車生産業界では、近年、メキシコへのセットメーカー進出や工場拡張が進んでおり、それに伴いアラバマ州をはじめとする米国南東部の自動車生産台数も増加しています。

ハンツビル支店は、2021年2月、アラバマ州ハンツビルに新設した自動車メーカー様の工場敷地内にハンツビルロジスティクスセンター(以下、HLC)を構え、同社の自動車部品DC業務を実施。2022年1月からは、新車種の製造開始に合わせ、同車の部品供給を行っています。また、自動車メーカー様の業務拡大およびティア1サプライヤーの取り扱いに対応すべく、2022年5月末よりHLCの近隣に約1万5千平米の第二倉庫を稼働します。

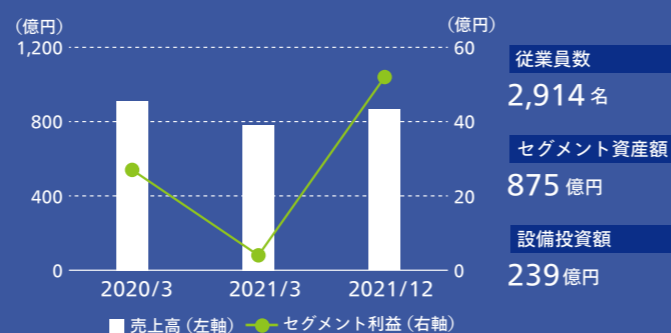
ハンツビルロジスティクスセンター



第二倉庫



売上高/セグメント利益の推移



戦略と施策

With コロナでの“サプライチェーン混乱の常態化”やサプライチェーンの見直し、いわゆる“米州生産回帰(ニアショアリング)”といった歴史的な事業環境変化の中、お客様のサプライチェーンが途絶えることがないように、ロジスティクスソリューションの開発・強化を実行します。

特に自動車産業、半導体産業、医薬品産業などに対し、自社物流拠点展開・機能強化を進めることで、さらなる取引の拡大を図っていきます。

また、上記重点産業への営業拡大と顧客基盤を強化するため、専門的な人材の拡充などの施策に取り組んでいます。

2021年12月期業績概況

航空貨物の取り扱いが増加したこと等により、売上高は866億円となり、営業利益は52億円となりました。



欧州

事業概要

ドイツやイタリア、オランダなど欧州主要各国、トルコ、アラブ首長国連邦に拠点を展開しています。2021年6月にプラチスラバ支店(スロバキア)、10月にベオグラード支店(セルビア)を開業し、中東欧諸国においてビジネス展開をしているさまざまな企業に対しても営業強化を図っています。また、アフリカのケニア・モロッコにも拠点を開設、新興地域への展開を積極的に行っています。

2021年度の主な取り組み

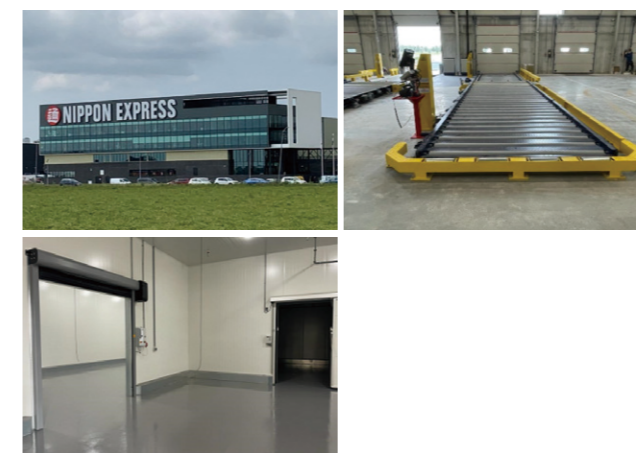
スキポール・エアポート・ロジスティクス・センターを竣工

NXオランダ株式会社は、スキポールトレードパーク内に「スキポール・エアポート・ロジスティクス・センター」を開業しました(営業開始日 2021年7月)。

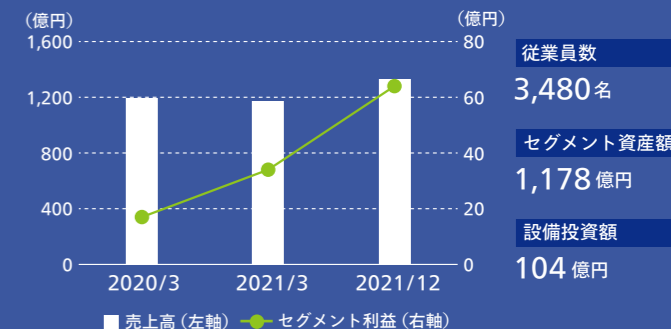
欧州における重要なハブ空港の1つであるアムステルダム・スキポール空港から南西部約7kmに位置するスキポールトレードパーク内に建設された同センターは、現行施設の2倍以上の広さとなり、屋上には60m×55mのソーラーパネルを設置し、環境に配慮した施設となります。

今般開所した新拠点では、15～25℃(定温)、2～8℃(冷蔵)、-15℃～-25℃(冷凍)の3温度帯に対応可能な医薬品専用温調庫と専用トラックドックを完備し、医薬品産業のお客様の物流ニーズに対応します。また、半導体関連装置等の重量貨物や長尺貨物の取り扱いを想定し、20フィートパレットにも対応可能なULDハンドリングシステムを導入することで、大型貨物の取り扱い拡大を目指します。

同社は、同センターの設立により同国での物流サービスの拡充を図り、経営計画において重点産業と位置づける医薬品産業や半導体産業の取り組みを強化していきます。



売上高/セグメント利益の推移



戦略と施策

中東欧・中東・アフリカまでおよぶ広範な自社ネットワークを生かし、重点産業である半導体・モビリティ・医薬品産業への営業拡大を進めるとともに、非日系企業基盤の拡大に向けた営業体制の確立を進めています。ハイファッションへの取り組みではライフスタイル産業へも営業を拡大し、存在感を強めています。中欧鉄道による鉄道貨物の拡大や欧州経由のアフリカ向けクロスボーダー輸送の開発などに加え、ハブポートの既設拠点での倉庫配送業務といった事業領域の拡大にも取り組んでいます。

2021年12月期業績概況

航空貨物および倉庫配送の取り扱いが増加したこと等により、売上高は1,328億円となり、営業利益は64億円となりました。

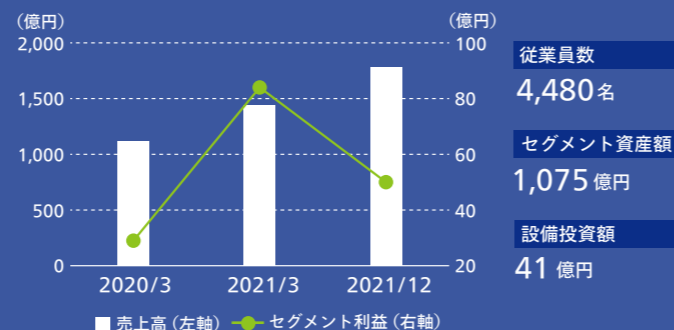


東アジア

事業概要

中国、香港、台湾、韓国の緊密な経済圏にネットワークを構築しています。内需の規模が大きい中国では主要都市を結ぶ幹線輸送および都市内配送の自動車配送網と、各地に展開する倉庫拠点を活用し、家電・自動車部品・衣料品を中心に国内物流を展開しています。また、医薬品物流に対する GDP 認証の取得や温度管理輸送サービスを拡充しています。域外との連携として、中国～欧州間の鉄道輸送に加え、東南アジア地域とのクロスボーダー輸送体制の構築も進めています。

売上高/セグメント利益の推移



戦略と施策

中国国内物流の事業拡大策として、自動車産業では日系だけでなく、非日系メーカーへの取り組みを拡大するとともに、EV化に伴うサプライチェーンの変化への対応も強化していきます。医薬品産業では、GDP 認証拠点の拡充等物流拠点の施設整備による品質向上を図っています。また、半導体産業においては域内のグローバル企業への営業を強化し、シェア拡大に取り組んでいます。域外との連携においては、中国・欧州を結ぶ国際鉄道輸送を海上輸送・航空輸送の中間商品として取り扱いを拡大し、沿線にある中央アジアへの事業拡大にも積極的に取り組んでいます。

2021年12月期業績概況

航空貨物の取り扱いが増加したこと等により、売上高は 1,780 億円となりましたが、航空利用費の増加等により、営業利益は 50 億円となりました。

2021年度の主な取り組み

中国本土進出40年を契機に、NXグループの存在感を高め、中国国内物流の事業拡大を強化

東アジアリージョンは、中国の輸入拡大および双循環戦略(国内と国際の2つの循環を相互に促進させる新たな発展戦略)に積極的に呼応すべく、上海で2018年から毎年開催される国家級のイベントである、「中国国際輸入博覧会(CIIE)」に、4年連続で出展しました。

2021年はNXグループ中国本土進出40年の節目の年であるため、会期中に40周年式典を実施し、2022年から始まるNXグループブランドを紹介し、東アジアの中で最も巨大な市場を持つ中国におけるNXブランドの浸透促進を図りました。

また2022年には、海南省で開催される国家級イベントである「中国国際消費財博覧会」への出展を予定し、中国国内物流の事業拡大に向けた取り組みを強化します。



2021年11月に上海で開催した中国進出40周年記念式典にて、NXブランドお披露目の様子 2022年出展予定の「中国国際消費財博覧会」ブースイメージ

中国、香港、台湾、韓国にてGDP認証を取得

東アジアリージョンでは、医薬品の適正流通基準であるGDP(Good Distribution Practice)認証の取得に積極的に取り組んでいます。

【2021年のGDP認証取得事例】

NX国際物流(中国)有限公司:上海浦東空港 CFSにおける医薬品の短期保管サービス

NX香港株式会社:香港のコンテナターミナルに隣接する自社倉庫での医薬品保管業務および温度管理輸送サービス

NX台湾国際物流(股)有限公司:桃園国際空港に到着した航空輸入貨物の台湾域内輸送業務

NX韓国株式会社:同社本社(ソウル)および仁川国際空港 CFSにおける医薬品の短期保管サービス

東アジアの医薬品市場は、人口の高齢化や一人当たり所得の増加、それに伴う医療費の増加に支えられて順調に拡大し、今後さらなる成長が見込まれます。高度化・多様化する医薬品の物流ニーズに応えるサービスを拡充し、今後も経営計画において重点産業と位置づける医薬品の取り組みを強化していきます。



南アジア・オセアニア

事業概要

シンガポールやタイなどのASEAN9カ国とインド・バングラデシュ・オーストラリアなどに拠点を展開しています。経済連携の強化により域内貿易がますます活発化する傾向にある中、さまざまな輸送ルート・輸送モードで結ぶクロスボーダー輸送ネットワークの拡充、地域最大の経済圏インドでは、自動車関連部品の効率的集約と配送を行うミルクランサービスやJIT物流を提供、サプライチェーンの最適化に取り組んでいます。また、医薬品物流に対する GDP 認証の取得や温度管理輸送サービスを拡充しています。

2021年度の主な取り組み

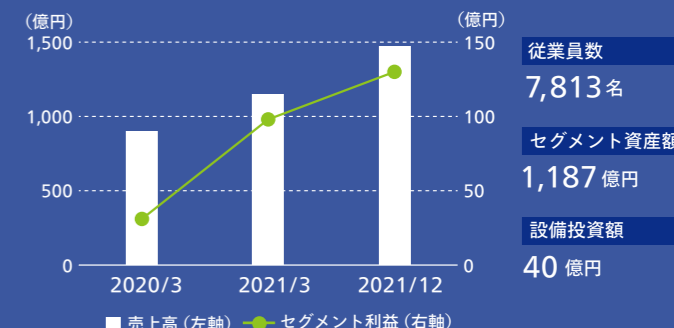
域内各社でGDPを取得

2020年度に引き続き、域内各社で医薬品適正流通基準であるGDP(Good Distribution Practice)の認証を取得しました。3月を発行日としてNXカンボジア株式会社にて国内輸送サービスの提供、NXロジスティクスインドネシア株式会社にて倉庫保管に関するGDPを、4月を発行日としてNXインド株式会社にてデリリー・ムンバイ・アーメダバードの温度管理施設におけるGDPを、5月を発行日としてNXオーストラリア株式会社にて海空輸出入サービスの提供に関するGDPを取得しました。

NXシンガポール株式会社 自動倉庫導入

同社では2022年2月にAutoStore(ロボットストレージシステム)を導入しました。倉庫スペース不足・マンパワー不足といったお客様の要望に対応するため導入され、Autostoreと併せてVNAラック(通常より間隔が狭い通路のラック)やPallet Shuttle Rack(台車式流動棚)などを活用しました。その結果、保管能力やピッキング効率、ステージング収容力が増加し、コストの削減のみならず作業の効率化も図ることに成功しました。

売上高/セグメント利益の推移



戦略と施策

域内各国の経済連携により拡大する国際物流需要と、購買力向上による消費財需要の高まりに対して、重点産業である自動車、電機・電子、半導体、医薬品、アパレルに消費財、化学を加えた各産業への営業強化および多機能倉庫を活用した新規・高品質サービスの開発による域内営業基盤の確立に取り組んでいます。また、インドを中心に中東・東アフリカを結ぶ環インド洋貿易圏、バングラデシュとパキстанを含むインド亜大陸のネットワークの拡充を進めていきます。

2021年12月期業績概況

航空貨物、海運貨物の取り扱いが増加したこと等により、売上高は 1,468 億円となり、営業利益は 130 億円となりました。

警備輸送セグメント

事業概要

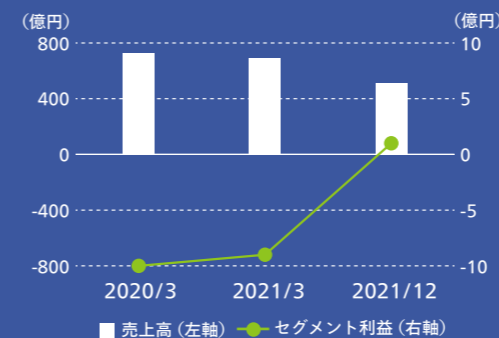
1965年の事業開始以来、貴重品運搬警備のパイオニアとして、現在に至るまで国内 No.1のシェアを占めています。日本通運株式会社の警備員のハイレベルな警備によって金融機関の輸送、量販店や飲食店向けに集配金サービスなどを提供しています。また、輸送だけでなく、オンライン入出金機 CSD (Cash Safety Delivery) サービスなどに対するニーズにも応えています。今後も、培った技術を進化させ、現金物流をトータルサポートするさまざまなソリューションを展開していきます。

2021年12月期業績概況

設定便、集配金業務の減少等により、売上高は513億円となり、各種コスト削減等の効果により営業利益は1億円となりました。



売上高/セグメント利益の推移



従業員数	セグメント資産額	設備投資額
6,588名	1,118億円	28億円

今後の主な取り組み

NXキャッシュ・ロジスティクス株式会社の設立について

警備輸送事業は、NXグループの主要事業として、全国ネットワークと高品質な作業体制による業界トップのシェアを維持してきましたが、世界的なキャッシュレス化の進展と金融機関の再編等による市場の縮小、競争の激化により経営環境が大きく変化をきています。

このような中、2021年4月に警備輸送事業の分社化に関する検討を開始し、2022年2月の取締役会を経て、来る2023年1月1日よりNXキャッシュ・ロジスティクスに警備輸送事業を承継することとなりました。

警備輸送事業のさらなる専門性の強化と、意思決定の迅速化を図り、これまでよりさらにお客様に寄り添い、発展、成長していきます。

NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社の直轄の事業会社として、当社グループ全体と連携しながら経営を進化させ、企業としての価値の最大化を図っていきます。

重量品建設セグメント

事業概要

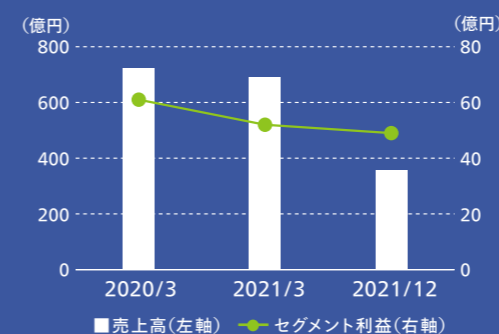
発電所、石油化学プラント、設備機器の輸送・据付まで全てを一貫して行っています。その他、半導体の製造工場のクリーンルーム内設備といった精密機器の輸送・据付にも、独自の技術で対応しています。環境への配慮から近年需要が高まっている風力発電設備の業務には1999年から本格的に乗り出しており、現在国内にある風力発電設備の約70%は日本通運株式会社を取り扱い、今後も伸長させる計画です。

2021年12月期業績概況

プラント関連工事の減少等により、売上高は358億円となり、営業利益は49億円となりました。



売上高/セグメント利益の推移



従業員数	セグメント資産額	設備投資額
961名	265億円	11億円

2021年度の主な取り組み

風力発電輸送で国内トップシェア

陸上風力発電設備は、山の稜線に建設されるような場合が多く、長さ40～60mものブレード(羽根)や重さ数十tにもなるナセル(発電機)を、障害物を避けながら輸送するには、高度な技術が必要になります。日本通運株式会社では、専用に独自開発したトレーラー(ブレード起立装置)や経験豊かなスタッフによる綿密な輸送計画によって、この困難を乗り越えています。また、2021年度は大規模風力発電設備としては国内初となるリプレース(建て替え)工事を北海道で施工しました。リプレース工事はこれまでの新設工事に加えて、既存風車の撤去解体工事が発生します。この経験を生かし、今後の陸上風力の業容拡大に努めていきます。

洋上風力発電設備につきましては、日本国内では初めてとなる商用洋上風力発電事業(秋田能代)の業務を受注し、現在施工中です。これからは陸上風力だけではなく洋上風力も含めて国内トップシェアを目指します。

今後も風力発電設備等の輸送・据付業務を通じて再生エネルギー普及に貢献していきます。

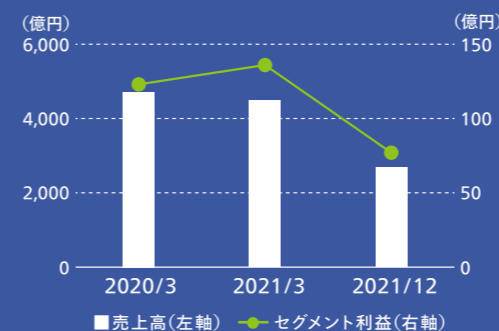


物流サポートセグメント

事業概要

物流という本業に関連した、あるいは本業によって広がったネットワークを活用した事業を展開しています。梱包資材から車両、石油・LPガス等、輸送に欠かせない各種商品の販売、車両の整備、保険代理店業務を行うNX商事株式会社や国内外のグループ会社が物流ニーズの調査・研究業、ロジスティクスファイナンス事業、労働者派遣業、不動産業等を行っています。

売上高/セグメント利益の推移



従業員数	セグメント資産額	設備投資額
4,526名	2,898億円	15億円

2021年12月期業績概況

石油販売単価が上昇したことに加え、物流機器販売が堅調に推移しましたが、リース事業の分社化や、当連結会計年度の期首より収益認識に関する会計基準等を適用したこと等により、売上高は2,671億円となり、営業利益は77億円となりました。

